

製品名: IL-1R9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12523**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	79kDa

抗原情報

遺伝子名	IL1RAPL2
別名	IL1RAPL2; IL1R9; X-linked interleukin-1 receptor accessory protein-like 2; IL-1 receptor accessory protein-like 2; IL-1-RAPL-2; IL-1RAPL-2; IL1RAPL-2; IL1RAPL-2-related protein; Interleukin-1 receptor 9; IL-1R-9; IL-1R9; Three immunoglobuli
遺伝子 ID	26280.0
SwissProt ID	Q9NP60
免疫原	抗血清はヒト IL1RAPL2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

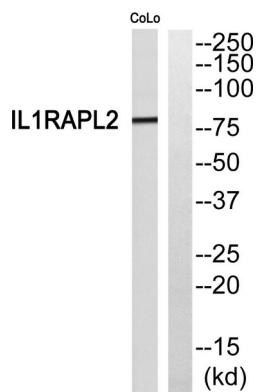
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン-1受容体ファミリーのメンバーです。このタンパク質はインターロイキン-1の補助タンパク質に類似しており、インターロイキン-1受容体補助タンパク質様タンパク質1 (IL1RAPL1) と最も近縁です。この遺伝子と IL1RAPL1 は、X連鎖性非症候性精神遅滞に関連するX染色体上の領域に位置しています。[RefSeq提供、2008年7月]、類似性: インターロイキン-1受容体ファミリーに属します。、類似性: 1つのTIRドメインを含みます。、類似性: 3つのIg様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを含みます。、組織特異性: 胎児および成人の脳、特に前頭葉、側頭葉、小脳において低レベルで検出されます。皮膚、肝臓、胎児の卵巣、胎盤に非常に低濃度で検出されました。

研究分野

-

画像データ



IL1RAPL2抗体のウェスタンブロット解析。右レーンにはIL1RAPL2ペプチドでブロッキングされている。